

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 3719

科目概要記入欄

1. 開設大学	叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部		開催 方法	■対面（本学）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
	2. 正式科目名 副題	異文化論（日本語）		配当年次	2・3
			受入学年	2・3	
学問分野	番号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員名	PETKOVA Galia				
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期後半		
6. 開講期間 曜日・時間	2025年1月9日（木）～2025年2月27日（木） 木曜日 13:30～17:00				
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要とする科目」（ ） ・「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	若干名	9. 選考方法	叡啓大学学生の履修者が定員上限に達しない範囲で受入		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>古代ギリシャの哲学者アリストテレスが定義したように、人間は社会的動物である。要するに、我々は生存、繁栄するために、社会を必要とし、相互扶助に依存しているのだ。ただし、その歴史的文脈により、それぞれの社会はそれぞれ特有の文化を持っている。たとえば、生と死をめぐる観念は文化によって大きく異なる。食生活など日常的な行為でも文化による差は大きい。</p> <p>本科目では異なる文化を比較することを通して、それぞれの文化の特徴を相対的に理解することを目的とする。たとえば、受講生は実践英語で身につけた英語スキルを活用し、英語で創作された文学や映像作品を読解し、その解釈を議論する。その過程を通じて、文化の差異を把握できる能力を獲得することをめざす。</p> <p>本科目は、リーディングアサインメントとそれらに基づくディスカッションで構成される。講師がアサインメントとして文献を選んで配布する。指名されたグループが内容を要約して、疑問点を提示する。それらに応じて、グループディスカッションおよび全体でのディスカッションが実施される。講師が必要に応じて論点を解説する。本科目はPBLを実施する。各グループには、科目内容に関連する研究プロジェクトの課題が割り当てられ、グループメンバーたちは協働しながら、各自そのプロジェクトに可能な限り貢献することが期待される。所定様式に従い、グループ研究レポートを提出することが求められる。成績評価の40%はこのグループプロジェクトに基づく（PBL）。</p>				
11. 試験・評価方法					
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ		可	⊖	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ		可	⊖	